

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日		年 月 日	
放課後遊放サービス おひさまマイル		公表日		年 月 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0		
	2 対応定員やこどもの状態等に対して、職員配置数は適切であるか。	6	1		専任職員に加え、施設職員、心理専門職を配置しているが、送迎時期には、勤務数数によっては、少し手薄になる場合もある。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、児童の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	下駄箱や靴入れには構造化を取り入れている。	器具や教材の整理、予定表については構造化が十分とならない。また必須である。二階が支援室のためバリアフリー非対応。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	7	0	夜間の受け入れ前、帰宅後の清掃は毎日行っている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	保護不食時や、情緒不安のため、面談から離れることを未入が希望する場合や、職員からの、当該児童が職員の手で過ごすことがある。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	5	2		職員の経験や専門性が千差万別であり、専門性の共有、知識の標準化が課題である。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3		外部機関による個別サービス第三者評価については、高評価を必要とするため、今のところ実施の見通しがない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を実施する機会が確保されているか。	7	0	虐待防止や、身体拘束など必須の研修の実施に加え、法人負担で日紅の学会の年次大会に参加できる。その他の研修への任意参加も奨励している。	
適切な支援の提供	11 適切な支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1		5領域については個別支援計画の作成に反映済みであるが、ホームページを通じての公表は、3月末までに実施するよう準備中である。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	1		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、発達支援支援管理責任者が中心となり、こどもの支援に関与する職員が連携的であり、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2		
	15 こどもの活動行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容が盛り込まれている。こどもの支援に必要な目的・活動に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2	職員が固定化された個人的な業務になりがちである。	幅広い視点で計画できるよう役割分担が必要である。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	季節行事や、その一環としての調理教室の実施、外部団体主催の職業体験、徒歩通学や利用車を用いた公園への外出などを実施している。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、実施が行われているか。	7	0		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	3		正規職員とパート職員で勤務開始時間が異なるため、高評価を実施するに時間を決めて行いたい。
21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の内容や振り返りを行い、実行した点等を共有しているか。	5	2	対応での実施が十分でないのを補うため、LINEを通じた情報交換を行っている。保護者からの連絡、要望などを随時共有している。	送迎日数が保護者数によりまちまちのため、送迎時の打ち合わせは課題である。	
22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、変換の検証・改善につなげているか。	7	0			
23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	2			
24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7	0			
25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を学ぶ育ための支援を行っているか。	7	0	おやつ遊びや、外部団体主催の職業体験訪問や、余暇をどう過ごすかなど、機会を設けて、各児童が自分の意見を表明できる機会を確保している。		
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	6	1		
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保健、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	28 子どもの情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
	29 財源に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解が図られているか。	6	1		
	30 学校卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか。	7	0		
	31 地域の発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	特別支援教育士資格を所持する公認心理士が在籍しているが、その必要性は認められず、業務から外出は困難であった。	多様な児童のニーズを踏まえ、セカンドオピニオンとの連携を図りたい。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	放課後は、児童発達支援と放課後等デイサービス運営が異なるため、事業所からの外出は困難である。	
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0		
	34 自然からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	35 要約の対比の向上を図る観点から、家庭に対して要支援プログラム（オペレントトレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供を行っているか。	6	1		保護者からの相談には、公認心理士が対応しているが、保護者を対象とした系統だった研修は実施していない。
保護者への説明等	36 進捗報告、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39 要支援等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、相談や必要な支援を行っているか。	7	0		
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、まよつだい親士会で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2		今のところ、保護者からそうした機会についてのニーズを届けることが無い。
	41 こどもや保護者からの声について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42 定期的に通信等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動内容や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	43 個人情報等の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45 事業所内行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	5	2	民家のため行事の地域開放は困難である。ただし、保護者の要望に即応し、習字学校や音楽団体からの見学依頼などには随時対応している。	
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	火災想定による訓練は実施している。	火災想定以外にも、地震想定など、まんべんなく訓練を行うようにしたい。
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に訓練、救出その他の必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48 事前に、服装や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	6	1	医師、口頭でのアレルギーの聞き取りを行い、おやつの際には配慮し、代替品を提供している。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他の必要な措置を講じている等、安全管理が十分れた中で支援が行われているか。	6	1		
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく事前内訳について、要支援等へ周知しているか。	7	0		
	52 ヒヤリットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	7	0		
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0		